

はじめまして



令和5年5月生まれのお子さんを募集します

- 3月1日(金)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課(内線322) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、4月2日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和5年3月生まれのおともだち



松岡 采暖ちゃん(谷郷)
 令和5年3月9日生まれ
 父・朋弥さん 母・亜紗紗さん
 「生まれてきてくれてありがとう。
 元気で優しい子に育ってね♡」



風間 希依ちゃん(下須戸)
 令和5年3月29日生まれ
 父・祐希さん 母・菜さん
 「元氣いっぱい♡
 すくすく大きくなあれ!」



大島 大知ちゃん(持田)
 令和5年3月25日生まれ
 父・裕介さん 母・加菜さん
 「ラブ&ピース☆大ちゃん!
 毎日癒しをありがとう♡」



中島 綺ちゃん(桜町)
 令和5年3月26日生まれ
 父・悠貴さん 母・真里香さん
 「可愛いぎいちゃん大好き♡」



加藤 世莉ちゃん(長野)
 令和5年3月16日生まれ
 父・陽亮さん 母・由妃さん
 「我が家のアイドル!
 あ・い・し・て・る♡」



平野 莉子ちゃん(長野)
 令和5年3月6日生まれ
 父・裕行さん 母・涼子さん
 「りこちゃん、
 しあわせをありがとう♡」

市長コラム

— 新しい行田へ —

第6回「足袋を履くことにしました」



行田市長 行田邦子

「行田といえば?」ゼリーフライ、お城、古代蓮、古墳…。私が市外の方と行田の話をしていると、ほとんどの方が思いつくのは、足袋なのです。

江戸時代に武士の妻たちの内職であった行田足袋が、昭和の最盛期には全国シェアの8割を占めるまでに発展したことは、市民の皆さんご存じですよね。まちなかの裏通りに響くミシンの音の記憶、あるいはご自身が裁断したり縫製したりした経験のある方もいらっしゃると思います。現在も、市内足袋事業者の皆さんが、行田足袋の歴史と伝統を今に受け継いでいます。



行田のまちなみや文化、ライフスタイルにも大きな影響を与えているのが足袋。ということで、足袋を履く機会を増やすことにしました。色足袋、柄足袋、地下足袋、足袋シューズ、洋服に足袋など、時代の変化に合わせて足袋も進化していますが、やはりトラッドスタイルは着物に白足袋でしょうか。2月16日の定例記者会見が今年の私の初足袋となりました。(YouTubeの行田市公式動画チャンネルからご覧になれます)

これまでも通常国会開会式、園遊会、自身主催の新年会、去年は花手水week及び希望の光の授賞式など、特別な日や節目の日には着物を着ていましたが、さらに足袋を履く機会を増やしたいと思っています。また、公約として検討中なのは着物を自分で着ることですが、こちらはまったく自信がありません。

皆さんも日常生活に足袋を取り入れてみませんか。

今月の表紙

行田市立図書館では、令和4年1月から電子図書館サービスを開始しました。現在は気になる本を電子でも見つけることができ、読書を楽しめます。

もっと便利に、より使いやすく進化していく図書館をこの機会に活用してみませんか。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>

IGZO GYODA PROJECT

市職員によるプロジェクトチーム「IGZO GYODA」では、動画を作成し、本市のさまざまな魅力をYouTube「ぎょうだ動画チャンネル」で配信しています。ぜひご覧ください。



環境にやさしい
植物油インク